

# ま

又また一いちと

名な乗のるは誉ほまれ

安あん祥じょう譜ふ代だい

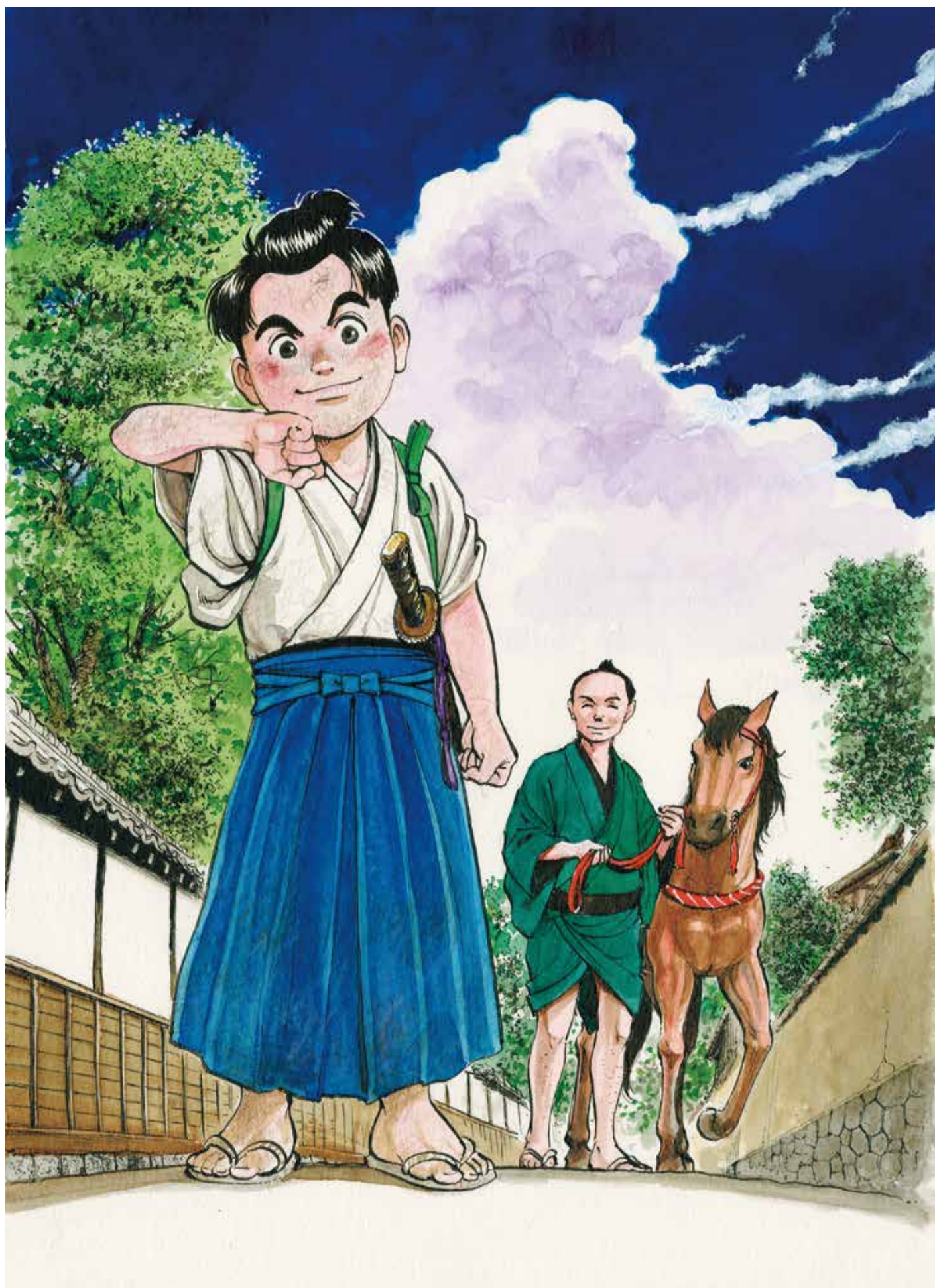
## 解説

小栗家四代忠政は家康に仕え、勇猛な家臣として知られていた。いくさの度に「一番槍は小栗殿」と報告が来るので、家康は「また一番か」「又一か」ということで「小栗は又一と名乗れ」と言った。以来小栗家当主はそれを誉れとして代々小栗又一を名乗るようになった。忠順は十二代となる。



# う

生まれは う 神田駿河台 かんだするがだい  
わんぱく小僧の剛太郎 こぞうごうたろう



## 解説

徳川家の旗本小栗忠高・邦子の長男として1827文政十年六月二十三日に生まれた江戸っ子。評判のガキ大将で、はっきりした意見を言つて「天狗」と言われ、年上の少年を顎で動かしたという。